

心の ともしび

暗いと不平を言うよりも
すすんであかりをつけましょう

平和があるように

もりた なおき
森田直樹 神父



「挨拶」と聞くと、聖書のお話の中で、天使ガブリエルから聖母マリアへのお告げの場面を思い浮かべる方が多いかと思いますが、今回は、あえて、復活されたイエスさまご自身の「挨拶」について考えてみたいと思います。

イエスさまが十字架の上で亡くなられた後、弟子たちは恐怖と不安のどん底にいました。それは、先生であったイエスさまが反逆者として十字架で処刑されてしまい、次は自分たちの番かもしれないと恐れていたのです。聖書にも「弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた」と記されています（ヨハネ20・19）。

ところが、そんな恐れの中にあつた弟子たちの真ん中に、イエスさまが復活されて立たれます。そして、「あなたがたに平和があるように」とおっしゃいます（同）。

イエスさまの挨拶は「平和があるように」です。この平和は、武力や圧力で抑え

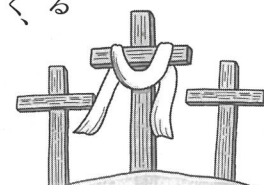
込んだ結果訪れる平和なのではなく、

神さまとの深い一致の中で、何事が起ころうとも、

心に平安をもたらしてくれる平和です。

おそらく、イエスさまが生きて活動されている時も、このように挨拶されていたのではないのでしょうか。病氣の人たち、障^{しょうが}碍を持つ人たち、そして、社会から排除されていた人たちに対して「平和があるように」と挨拶されたのではないかと私は思います。

一人一人が抱える困難や病氣、苦しみを前にして、それでも「平和があるように」とイエスさまはおっしゃったのです。このイエスさまの言葉にならって、私たちが「平和があるように」という言葉を私たち自身の挨拶の言葉にしていきたいと思えます。お互いに支え合い、助け合う気持ちと共に、周りの人たちに平和をつなげていきたいと今、切に願っています。



主のご復活
おめでとうございます！

ホームページ (<https://www.tomoshihi.or.jp>)



【ラジオ番組「心のともしび」】 月曜日から土曜日までの毎朝、全国ネットで放送中！

各方面で活躍中の執筆者約30名が、その月のテーマに沿って書き下ろしたお話をナレーターの朗読でお届けする番組です。放送されたお話の中から毎月6篇を選んで機関紙に掲載しています。ぜひ、他の方のお話もお聴きください。パソコンやスマートフォンでラジオが聴けるアプリ「ラジコ」のタイムフリーなら過去1週間以内に放送された番組が無料で聴きいただけます。 ※パソコンの方は「radiko.jp」にアクセスしてください。

スマートフォンの方はアプリをダウンロードしてください。 ➡



放送時間やラジコなどのお問い合わせは、〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル
心のともしび運動YBU本部（電話：075-211-9341 FAX：075-211-9343） または、ホームページをご覧ください。